

第74回日本臨床眼科学会 モーニングセミナー 9

Alcon

日時：2020年10月17日（土）7：30～8：30

会場：第5会場（東京国際フォーラム1FホールD1）

白内障のエビデンス by Cataract Evidence Club

これでバッチリ!

命題
~知っているようで知らない強度近視~

演者 座長

強度近視眼のIOL度数計算はこれで決まり!!

強度近視眼の眼軸長測定はこれでバッチリ!

強度近視への角膜乱視矯正

手術の注意点
~強度近視眼に対する白内障手術~

宮田眼科病院
森 洋斉先生

慶應義塾大学
小島 隆司先生

北里大学
神谷 和孝先生

六本木 柴眼科
柴 琢也先生

宮田眼科病院
宮田 和典先生

座長抄録

元来、医師はエビデンスを元に患者の治療にあたる。そこで、重要なのはそのエビデンスの質である。そこで我々は、臨床で直面する白内障の諸問題を、いわゆる個人的な感想や不十分なデータによる評価ではなく、臨床研究をもとにした確固たるエビデンスを元に解決する白内障エビデンスクラブを立ち上げた。メンバーは、白内障分野でこれまで十分実績を上げてきた臨床研究のエキスパートたちである。エビデンスクラブの第一回目のテーマは、強度近視とした。強度近視に対する白内障手術は、その術式、IOL度数計算、角膜乱視の取り扱いなど、臨床において誰もが一度は悩んだことがあり、議論の多い問題である。本セミナーでは六本木柴眼科の柴先生より強度近視眼に対する白内障手術について、慶應義塾大学・中京眼科の小島先生より強度近視眼の眼軸長測定について、宮田眼科病院的森先生から強度近視眼のIOL度数計算について、最後に北里大学の神谷先生から強度近視眼への角膜乱視矯正について十分なエビデンスを元に検討していただく。本セミナー内容が先生方の明日からの臨床に応用できるエッセンスとなれば幸いである。

共催：第74回日本臨床眼科学会／日本アルコン株式会社

SMS324-1
2008TNK
JP-ACT-2000009